

第63回 全国建設業労働災害 防止大会 in 新潟

2026年10月8日(木)・9日(金) 現地開催とオンデマンド配信にて開催

大会スローガン 仲間の一声で摘む危険 みんなで築く安全職場



2026年
10月8日
(木)

総合集会
初日

朱鷺メッセ 展示ホールA

◆ 開場10:30 / 開会13:15

特別講演 15:20~

『病まざる 老けざる
ホンマの医学』

総合内科専門医、
法務省矯正局医師

おおたわ 史絵 氏



2026年
10月9日
(金)

専門部会
2日目

朱鷺メッセ 国際会議室 ほか

◆ 開場8:45 / 開会9:00

会場

- ▶ 建築部会 朱鷺メッセ2F メインホールA
- ▶ 土木部会 朱鷺メッセ2F メインホールB
- ▶ 安全衛生教育部会 朱鷺メッセ4F 国際会議室
- ▶ 低層住宅部会 朱鷺メッセ2F 中会議室201
- ▶ コスモス部会 朱鷺メッセ3F 中会議室301

講演

『足場先行工法~その始まりと定着までの記録~』
元新潟労働局 安全衛生課長 若井岩夫 氏
[低層住宅部会]

講話

- ・厚生労働省 [安全衛生教育部会]
- ・国土交通省 [土木部会]

安全衛生保護具・
測定機器・安全標識等



1日目 10月8日(木)
10:30~17:00

2日目 10月9日(金)
9:00~15:30

朱鷺メッセ
展示ホールB

入場
無料

参加費 10,000円 / 1名(税込み)

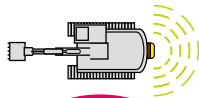
作業員に重機への接近を音声で警告して接触事故を防ぐ

セフティアラート **NEW**



398-05

サイズ: W200×D82×H120mm
材質: ABS樹脂



作業員の接近を
センサーで感知して
音声で警告



カタログのご請求・最寄りの代理店については、下記フリーダイヤルにてお問い合わせ下さい。



UNIT ユニット株式会社

●営業部 / 〒173-0004 東京都板橋区板橋2-3-20
TEL 03-0120-490336 FAX 03-0120-490173
E-mailでも承ります。sien@unit-signs.co.jp

180 8001
仙台工場設置取得

●営業所 / 第2・城北・城南・城東・札幌・盛岡・仙台・郡山・北陸・群馬・茨城・埼玉・千葉・西東京・横浜・平塚・静岡・京都・大阪北・大阪南・神戸・広島・福岡

石綿対策を
トータルサポート!



「石綿処理機材
マニュアル」
をご用意しています。

小型・軽量 集じん・排気装置 **AZ CUBE 360**



本体重量
約16kg

※フィルタは別売りです

軽さと
コンパクトさを
重視した設計!

上部は便利な取っ手付き!

外寸(mm): 473 (高さ) × 370 (幅) × 560 (奥行)

デュポン™タイベック
ソフトウェアⅢ型

JIS T 8115 : 2015
タイプ 4, 5, 6 適合
タイプ 5:
浮遊固体粉じん
防護用密閉服



デュポン、タイベック、ソフトウェアは米国デュポン社の関連会社の商標又は登録商標です。

アゼアス株式会社 <https://www.azearth.co.jp>

本社 〒111-8623 東京都台東区蔵前 4-13-7
TEL. 03-3861-3537 / FAX. 03-3861-2485



作業前 / 作業中の
安全確認をこれ1台で

ガス爆発 / 中毒 酸欠事故防止に!



作業中に動作を妨げ
ない、質量約100gの
小型・軽量設計



別売品のポンプユニ
ットと延長チューブで
吸引式に対応



理研計器株式会社

本社 〒174-8744 東京都板橋区小豆沢 2-7-6
TEL 0570-001939 (代) <https://www.rikenkeiki.co.jp/>

装着形4成分ガス検知器
Model: **GX-3R**

墜落制止用具の規格適合品

束縛感が少なく動きやすい水平型



身体保持の安定性に優れたV型

レヴォハーネス

新形状 腿水平型 & 新色 BKSL (黒 / 銀)

裏表異なるベルトで
おじれが一目瞭然!
着用しやすい!



TH-508H-OT-BKSL

レヴォハーネスの特長はそのままに、
ご要望の多かった腿ベルト水平型を
新発売!

TH-508-OT-BKSL

腿ベルトV型に従来のベルト色 (黒 / 赤) に加え、新色 BKSL (黒 / 銀) をラインナップ!

TSUYORON

公式サイト Youtube Instagram



商品についてのお問い合わせは
TEL.0795-48-3851 (営業部)
9:00~17:00 / 月~金 (弊社指定休業日は除く)

Safety is Love
FUJII-DENKO

〒679-0295 兵庫県加東市上滝野 1573-2

第63回全国建設業労働災害防止大会（新潟）のご案内

本年度の第63回全国建設業労働災害防止大会は、新潟県新潟市にて開催いたします。

大会初日の10月8日（木）は「朱鷺メッセ 展示ホールA」において、建設業における安全衛生活動に顕著な功労・功績のあった方々や優秀な安全衛生成績をあげられた事業場等に対する表彰、労働災害防止のために優秀な発明・考案等をされた方を対象とした顕彰、安全の誓いの採択、特別講演等を行う「総合集会」を開催します。

2日目の10月9日（金）は「朱鷺メッセ 国際会議室ほか」において、会員企業等による安全衛生等に関する研究発表を行うとともに行政担当官より労働災害防止対策、通達、方針等の情報を提供する「専門部会」を開催します。本年は建築部会、土木部会、安全衛生教育部会、低層住宅部会、コスモス部会の5部会を開催します。

また、本大会と併せて、最新の安全衛生保護具・測定機器・安全標識等を多数とりそろえた「安全衛生保護具等展示会」を「朱鷺メッセ 展示ホールB」において両日、開催します。

開催日時・開催会場

プログラム	開催日時	会場
総合集会	10/8(木) 13:15～	朱鷺メッセ 展示ホールA
建築部会	10/9(金) 9:00～	朱鷺メッセ 2階メインホールA
土木部会	10/9(金) 9:00～	朱鷺メッセ 2階メインホールB
安全衛生教育部会	10/9(金) 9:00～	朱鷺メッセ 4階国際会議室
低層住宅部会	10/9(金) 9:00～	朱鷺メッセ 2階中会議室201
コスモス部会	10/9(金) 9:00～	朱鷺メッセ 3階中会議室301
安全衛生保護具等展示会	10/8(木) 10:30～	朱鷺メッセ 展示ホールB
	10/9(金) 9:00～	

参加券申込みのご案内

申込方法

参加券の購入は、全国大会ホームページの「参加券購入はこちら」をご確認ください。

参加費は、おひとり様10,000円（税込み）です。参加券は、**初日参加券・2日目参加券**がセットになっております。

全国大会
ホームページ▶▶▶



主催 建設業労働災害防止協会、建設業労働災害防止協会新潟県支部

開催主協力支部 建設業労働災害防止協会茨城県支部、栃木県支部、群馬県支部、埼玉県支部、千葉県支部、東京支部、神奈川支部、山梨県支部、長野県支部

後援 厚生労働省、国土交通省、新潟県、新潟市、新潟労働局

協賛 一般社団法人全国建設業協会、中央労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会

協力 一般社団法人日本建設業連合会、一般社団法人建設産業専門団体連合会

総合集会プログラム

初日 10月8日(木) 朱鷺メッセ

10:30	開 場	
13:15	開 会	
	黙 祷	
	挨 拶	建設業労働災害防止協会 会長
	来 賓 挨 拶	内 閣 総 理 大 臣 厚 生 労 働 大 臣 国 土 交 通 大 臣 新 潟 県 知 事 新 潟 市 長
	歓迎のことは	大会実行委員長 建設業労働災害防止協会 新潟県支部長
13:50	安全衛生功労者に対する表彰・顕彰基金による顕彰	
14:10	安全の誓い	大会副実行委員長
14:15	講 演	「労働安全衛生行政の動向について」(仮題) 厚生労働省 労働基準局
14:35	アトラクション	萬代太鼓飛龍會 「新潟万代太鼓」
15:00	休 憩	
15:20	特 別 講 演	「病まざる 老けざる ホンマの医学」 総合内科専門医、法務省矯正局医師 おおたわ 史絵
16:30	閉 会	

※プログラムは一部変更になる場合があります。

特別講演 講演者紹介



『病まざる 老けざる ホンマの医学』

総合内科専門医、法務省矯正局医師 おおたわ 史絵 氏

筑波大学附属高等学校、東京女子医科大学卒業。

内科医師の難関、総合内科専門医の資格を持ち、多くの患者の診療にあたる。

近年では、少年院、刑務所受刑者たちの診療にも携わる、数少ない日本のプリズンドクターである。

日本で初めて受刑者復帰支援教育として「笑いの健康体操」を取り入れたパイオニア。積極的に再犯防止に取り組んでいる。

現代社会の流行から犯罪医学まで幅広い知識はテレビメディアでの評価が高く「信頼できる女性コメンテーター第1位」にも選ばれている。

出演番組

日本テレビ系 「情報ライブ ミヤネ屋」、「every. しずおか」、「スッキリ!!!」
(2006年4月～2016年3月)

NHK 「サタデーウオッチ9」
TOKYO MX 「5時に夢中!」
フジテレビ 「ホンマでっか!?TV」、「ネプリーグ」
テレビ朝日 「クイズプレゼンバラエティー Qさま!!!」
メ〜テレ 「ドデスカ!」
(2014年4月～2016年12月)
他多数

著書

『プリズン・ドクター』（新潮社 2022年）
「塀の中の診療室」で奮闘する日々をどこかユーモラスに綴った最新著書
『母を捨てるということ』（朝日新聞出版 2020年）
薬物依存で亡くした実母との経験を書き下ろした話題作
『女医のお仕事』（朝日新聞出版 2013年3月）
『女医の花道!!』（主婦の友社 2005年1月、朝日文庫 2008年4月）
ベストセラーの自伝的エッセイ
他多数

※おおたわ氏のオンデマンド配信はございません。

アトラクション紹介

新潟万代太鼓 萬代太鼓飛龍會

（にいがたばんだいだいこ ばんだいだいこひりゅうかい）

昭和43年、当時の新潟商工会議所会頭和田閑吉の命により、新潟まつりの新たな太鼓として誕生し、新潟市の繁栄そして市民の幸福と平和、あわせて越後平野の五穀豊穡と日本海の豊漁を祈願し、新潟市のシンボルである万代橋から名を頂き、「万代太鼓」と命名されました。

翌昭和44年1月初代会長小泉光司氏を中心に、「新潟万代太鼓飛龍會」として正式に発足し以来、創始団体として各団体の育成をしてまいりました。

新潟市の郷土芸能として県内市内はもとより、国内各地にとどまらず、ロシア、中国、韓国、アメリカにも数回渡り、新潟市のPRを行ってまいりました。

万代太鼓の愛好会も現在22団体、幼稚園・小中学校・大学・地域団体・そして職域団体があり、新潟日報・新潟交通・福田組、新潟まつりにむけ稽古しています。どうぞ今後とも新潟万代太鼓に絶大のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



第63回 全国建設業労働災害防止大会 in 新潟

安全衛生保護具・
測定機器・安全標識等

展示会

2026年 10月8日(木) 10:30~17:00

9日(金) 9:00~15:30

朱鷺メッセ 展示ホールB



出展企業	主な取扱品目
あさかわシステムズ株式会社	安全協力会向け会員管理クラウド「管兵衛」
アサヒ産業株式会社	次世代足場&支保工「ミレニウム」法面構工「MN-NORIMAX」 ポリエステル製硬化網材「マルチGRID」
アゼアス株式会社 東京本社	暑さ対策商品 空調服、化学防護服・難燃防護服・高視認防護服・ 集じん排気装置
株式会社アドバンス	【熱中症対策O.R.S】水分と電解質を素早く吸収、カラダに保持できる熱中症対策ドリンク【熱 中症医療機器 carboncool】熱中症発症時に急速に深部体温を冷却する「一般医療機器」
アトム株式会社	防護手袋：耐切削手袋、防振手袋、緩衝手袋等
株式会社穴吹レジャサービス	施工管理システム「かん助」による確実な安全管理 スマホで安全点 検表のペーパーレス化、安全パトロール、現場入場時のKY活動
株式会社インターアクション	①アスベストレベル3専用フレコン ②ガラ用フレコン ③フレコンスタンド ④石綿含有表示シール
株式会社エレメント・ プランニング	ポスター、小冊子、シール
大塚製薬株式会社	ボカリスエット・カロリーメイト
オンヨネ株式会社	腰痛対策ウェア「吐力（はらちから）ベスト」 https://www.onyone.co.jp/working/harajikaravest/
株式会社ガステック	検知管式気体測定器、各種ガス警報計
株式会社キッズウェイ	管理ダッシュボードXrossView 熱中症対策IoT機器
株式会社基陽	墜落制止用器具
株式会社グリーンクロス	安全資材・保安用品の販売及びレンタル、熱中症対策製品の販売及びレンタル、土木・建設資材の 販売及びレンタル、防火・防災及び安全に関する設備機器・グラフィックサインの企画、製作及び販売
株式会社建設安全研究会	安全教育用視覚教材（ストリーミング配信・DVD）
興研株式会社	防じんマスク、防毒マスク、電動ファン付き呼吸用保護具、 暑熱対策製品
光明理化学工業株式会社	・検知管 ・酸素濃度測定器 ・複合形ガス測定器 ・気流検査器
サンコー株式会社	墜落制止用器具（フルハーネス型、胴ベルト型、関連器具）、 墜落防止器具（セイフティブロック）
ジー・オー・ピー株式会社	アルミ台車、アルミ製段差解消スロープ、移動式室内足場、 軽重作業台、他
株式会社重松製作所	防じん・防毒マスク、電動ファン付き呼吸用保護具、 化学防護手袋・耐切削手袋、保護めがね等
株式会社シモン	安全靴・静電靴・ブロスニーカー・作業用手袋・安全衛生保護具
新コスモス電機株式会社	可燃性ガス検知器、毒性ガス検知器、酸素計
スリーエム ジャパン株式会社	墜落防止用製品（フルハーネス・ランヤード・アンカー類）呼吸用保護具・ 保護めがね/ゴーグル/防音保護具/化学防護服/自動遮光浴着面など
セーファー株式会社	クラウドカメラ
株式会社仙台銘板	無線式架線・構造物検知LIDARセンサーみはる/移動式デジタルサイネージ /パルチエ空調機/クロスファン/防音ボックス/マーキングサポートローラー
ソニーマーケティング株式会社	VRコーチング 現実では体験が難しい安全講習をVR空間で 実践的に学ぶ
SORABITO 株式会社	GENBAX点検
大栄産業株式会社	① 半固体蓄電池（系統用・産業用・家庭用・ポータブル） ② 熱中症救護袋 ③ 多機能抗菌製品 ④ 敷設板用クランプ「ZERO災」
株式会社谷沢製作所	保護帽、墜落制止用器具、 ヘルメット取付型熱中センサー「熱SEE（ネッシー）」等
株式会社つくし工房	MR・VRによる安全教育ツール、安全帯フック用フックライト、 重機接触防止装置、他

出展企業	主な取扱品目
株式会社積木製作	VRを活用した安全教育システム
株式会社東京BK足場	低層住宅の足場崩壊防止対策と墜落防止対策のための「スライドレール安全ブロック工 法」・「頂上なぎスライドレール安全ブロック工法」・「スライドレール安全帯工法」等の展示
東洋物産株式会社	高視認性安全服、ライフジャケット
株式会社ナカオ	安全作業用製品 はしご、脚立、可搬式作業台、移動式室内足場、 作業台、足場板、幅木、仮設工業会認定製品など
日本カノマックス株式会社	粉じん計、マスクフィットテスター
日本スピードショア株式会社	土砂遮断装置「スピードガード」 アルミ製水圧式四面支保工「マンホール土留」 など
長谷川工業株式会社 北関東営業所	脚立/作業台/ローリングタワー等高所作業での安全対策が見込 める製品
株式会社ハタヤリミテッド 大阪支社	コードリール、照明機器
株式会社ピカコーボレイション	アルミ仮設機材、可搬式作業台、親綱支柱、台車、昇降作業台等
藤井電工株式会社	墜落制止用器具（ハーネス型・胴ベルト型）及び墜落防止器具
株式会社ブロッブ	・墜落制止用器具 ・人体用ライフジャケット ・熱中症対策製品
みぞた巧芸株式会社	社旗、安全旗、腕章、タレ幕、ヨコ幕、標識、シート看板、胸章
ミドリ安全株式会社	安全衛生保護具・熱中対策商品・安全DX
株式会社メルシー	管理医療機器「エスコート・HJ（日本製フックアップ機器）」
山本光学株式会社	保護めがね・保護ゴーグル、電動ファン付き呼吸用保護具、 遮光用保護具
ユニット株式会社	安全標識 重機用安全対策用品
株式会社理研オプテック	保護めがね、ゴーグル、防災面、遮光用保護具、レーザ用保護具
理研計器株式会社	ポータブルガス検知器、酸素濃度計、高圧下用酸素濃度計、 VOCモニターなど

出展団体	主な取扱品目
（一社）仮設工業会	足場等仮設機材の性能試験及び先行システム足場の点検表等
（一社）建設技能人材機構	すべての現場に外国人材がいる時代へ。建設業の未来は共に創る！ ～元方事業者を知ってほしいJACの支援事業～
（一社）全国建設業労災互助会	事故を未然に防ぐ「労働福祉事業」と万一の事故に備えるための 「補償制度事業」の2つの事業で建設業で働く皆さまを支えます。
（一社）日本ガス協会	・ガス管損傷事故防止チェックシート ・ガス管照会窓口検査サイト周知チラシ

出展国立大学法人	主な取扱品目
長岡技術科学大学大学院	レスキューロボットやドローン、足場・除雪等の安全に関する 研究の展示と分野の説明

建設業労働災害防止協会	主な取扱品目
ずい道等建設労働者健康情報 管理システムセンター	ずい道等建設労働者健康情報管理システム
化学物質対策センター	化学物質対策関係、相談窓口など
復旧・復興工事安全衛生対策 支援センター	自然災害からの復旧・復興工事や防災・減災工事において、 自主的な安全衛生活動に対する支援事業

会場での受付方法のご案内

受付について

初日に受付を済まされた方も2日目の専門部会にご参加される際には必ず受付をお済ませのうえ、ご入場ください。

初日受付 朱鷺メッセ 10時30分～（2階 アトリウム）

2日目受付 朱鷺メッセ 8時45分～（専門部会各会場受付）

STEP1

初日参加券に名刺を1枚添えて、「参加者受付」に提出し、資料を受け取ってください。

初日

参加券

第63回全国建設業労働災害防止大会in新潟

参加者情報登録用紙

NO. []

参加券 初日 10/8

お名前をお持ちでない場合は、以下をご記入の上受付に提出してください。

※所在地 都道府県

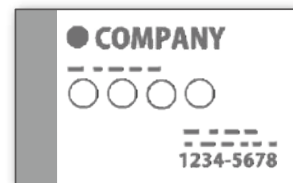
※事業場名

※御名前

※電話番号

1. 本券は、大会初日のみ有効です。
2. 参加者受付（朱鷺メッセ2階アトリウム）に、本券とお名刺をお持ちください。
3. 個人情報については、本大会参加者の把握にのみ利用し、それ以外の目的では利用いたしません。
建設業労働災害防止協会

名刺



※名刺をお持ちでない場合には、参加券にお名前等をご記入いただき、提出してください。

初日からの参加の方は2日目の参加券のみ受付でお渡しください。

2日目参加券に名刺を1枚添えて、「参加者受付」に提出してください。
※2日目からの参加の方は受付し、資料を受け取ってください。

2日目

参加券

第63回全国建設業労働災害防止大会in新潟

参加者情報登録用紙

NO. []

参加券 2日目 10/9

お名前をお持ちでない場合は、以下をご記入の上受付に提出してください。

※所在地 都道府県

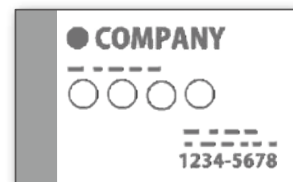
※事業場名

※御名前

※電話番号

1. 本券は、大会2日目のみ有効です。
2. 参加者受付（朱鷺メッセ 各部会入口）に、本券とお名刺をお持ちください。
3. 個人情報については、本大会参加者の把握にのみ利用し、それ以外の目的では利用いたしません。
建設業労働災害防止協会

名刺



STEP2

参加証（リストバンド）を受け取ってください。（参加証（リストバンド）は初日、2日目で異なります。）

10/8



建災防 第63回 全国建設業労働災害防止大会
大会論文集アクセス用 ID:●●●●●● PW:○○○○○

オレンジ色

10/9



建災防 第63回 全国建設業労働災害防止大会
大会論文集アクセス用 ID:●●●●●● PW:○○○○○

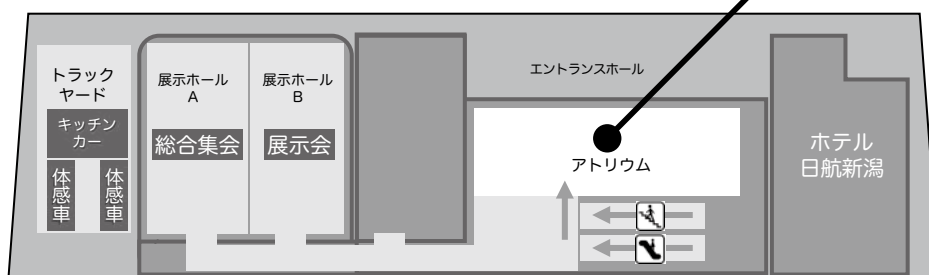
青色

（※イラストはイメージです。）

初日受付場所

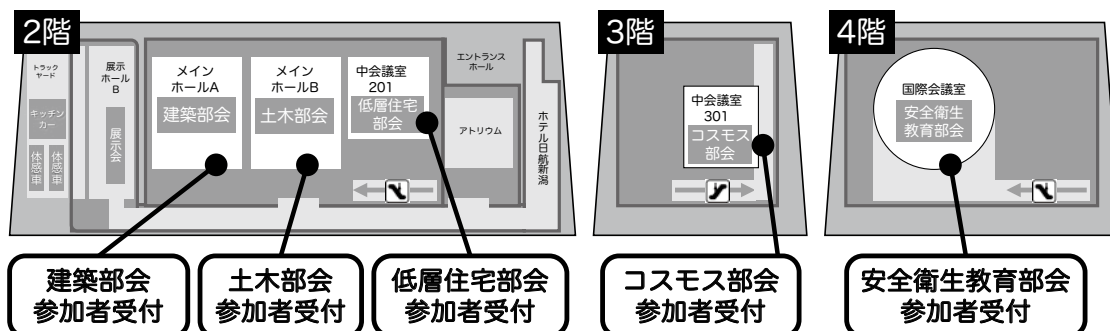
朱鷺メッセ
2階 アトリウム

総合集会参加者受付



2日目受付場所

朱鷺メッセ
専門部会各会場受付



壇上発表論文等のダウンロードについて

ご参加の皆様方におかれましては、事前に建災防全国大会ホームページ内、「全国大会参加者専用サイト」(令和8年9月24日オープン予定)にアクセスしていただき、壇上発表聴講の際に必要な論文を印刷又は、タブレット等にダウンロードのうえ、2日目の専門部会にご参加いただきますようお願いいたします。

なお、大会専用サイトへのアクセスの際に必要な「ID」、「パスワード」は、参加券、参加証(リストバンド)に記載しております。

全国大会
ホームページ



1

建災防HPの全国大会ホームページ内の「全国大会参加者専用サイト」にアクセス。画面1



2

参加券及び参加証(リストバンド)に記載のID、パスワードを入力し、ログイン。

画面2



3

聴講される部会名をクリック。

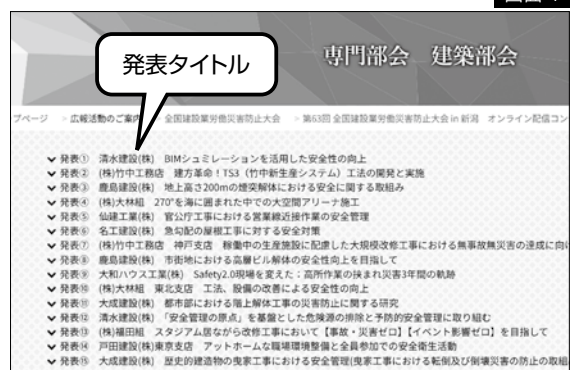
画面3



4

聴講される発表タイトルをクリック。

画面4



5

論文PDFをクリックしてダウンロード。

画面5



(画面表示は、イメージです。)

専門部会プログラム

2日目 10月9日(金) 朱鷺メッセ

	建築部会 (2階 メインホールA)	土木部会 (2階 メインホールB)	安全衛生教育部会 (4階 国際会議室)	低層住宅部会 (2階 中会議室201)	コスモス部会 (3階 中会議室301)
8:45	開場 8:45	開場 8:45	開場 8:45	開場 8:45	開場 8:45
9:00	開会挨拶 9:00～9:10(10分)	開会挨拶 9:00～9:10(10分)	開会挨拶 9:00～9:10(10分)	開会挨拶 9:00～9:10(10分)	開会挨拶 9:00～9:10(10分)
9:05					
9:10	発表① 9:10～9:30(20分)	発表① 9:10～9:30(20分)	講話9:10～9:30(20分)	発表① 9:10～9:30(20分)	発表① 9:10～9:30(20分)
9:15	清水建設㈱ 名古屋支店	鹿島建設㈱ 東北支店	厚生労働省	旭化成ホームズコンストラクション㈱	広成建設㈱
9:20	BIMシミュレーションを活用した	成瀬ダム堤体打設工事における	「労働災害防止に向けた	建設現場における従事者高齢化対策	コスモス導入後の課題・解決と
9:25	安全性の向上	遠隔技術を活用した安全管理について	最近の厚生労働省の取り組み」		今後の取組みについて
9:30	休憩 9:30～9:35(5分)	休憩 9:30～9:35(5分)	休憩 9:30～9:35(5分)	休憩 9:30～9:35(5分)	休憩 9:30～9:35(5分)
9:35	発表② 9:35～9:55(20分)	発表② 9:35～9:55(20分)	発表① 9:35～9:55(20分)	発表② 9:35～9:55(20分)	発表② 9:35～9:55(20分)
9:40	㈱竹中工務店 東京本店	㈱大林組 東京本店	㈱熊谷組 中四国支店	積水ハウス㈱	東レ建設㈱
9:45	建方革命！	シールド工事におけるICT・AI活用による	「時間がない現場」で安全を守る	新たな化学物質規制に係る対応	東レ建設が取り組む
9:50	TS3(竹中新生産システム)工法の開発と実施	次世代の安全管理手法			コスモス運用術向上への挑戦
9:55	休憩 9:55～10:00(5分)	休憩 9:55～10:00(5分)	休憩 9:55～10:00(5分)	休憩 9:55～10:00(5分)	休憩 9:55～10:00(5分)
10:00	発表③ 10:00～10:20(20分)	発表③ 10:00～10:20(20分)	発表② 10:00～10:20(20分)	講演10:00～10:45(45分)	発表③ 10:00～10:20(20分)
10:05	鹿島建設㈱ 関西支店	名工建設㈱	東急建設㈱ 首都圏建築支店	元 新潟労働局 安全衛生課長 若井 岩夫 氏	㈱福田組
10:10	地上高さ200mの煙突解体における	「橋まくらぎ交換機」導入に伴う	次世代へ魅力的な		福田コスモスの取組みについて
10:15	安全に関する取組み	安全対策	建設業界をアピール		休憩 10:20～10:25(5分)
10:20	休憩 10:20～10:25(5分)	休憩 10:20～10:25(5分)	休憩 10:20～10:25(5分)		発表④ 10:25～10:45(20分)
10:25	発表④ 10:25～10:45(20分)	発表④ 10:25～10:45(20分)	発表③ 10:25～10:45(20分)	『足場先行工法 ～その始まりと定着までの記録～』	㈱竹中土木
10:30	㈱大林組 大阪本店	清水建設㈱ 関西支店	鹿島建設㈱ 関西支店		自社における
10:35	270°を海に囲まれた中での	橋梁上部工事の安全管理の取り組み	やさしい日本語プロジェクト		COHSMsの取組みと活用法
10:40	大空間アリーナ施工		～やさしい日本語で働く～		
10:45	休憩 10:45～10:50(5分)	休憩 10:45～10:50(5分)	休憩 10:45～10:50(5分)	休憩 10:45～10:50(5分)	休憩 10:45～10:50(5分)
10:50	発表⑤ 10:50～11:10(20分)	発表⑤ 10:50～11:10(20分)	発表④ 10:50～11:10(20分)	発表③ 10:50～11:10(20分)	発表⑤ 10:50～11:10(20分)
10:55	仙建工業㈱ 仙台支店	㈱森組	鉄建建設㈱ 東北支店	大和ハウス工業㈱	川中島建設㈱
11:00	官公庁工事における	圧入ケーソン工法における	外国人労働者の労働災害防止に向けた日本語上達と	遠隔による安全管理業務の	川建コスモス 安全衛生水準の
11:05	営業線近接作業の安全管理	狭い施工環境での安全対策	安全教育を同時に高める実践的アプローチ	有効性について	さらなる向上を目指して
11:10	休憩 11:10～11:15(5分)	休憩 11:10～11:15(5分)	休憩 11:10～11:15(5分)	休憩 11:10～11:15(5分)	休憩 11:10～11:15(5分)
11:15	発表⑥ 11:15～11:35(20分)	発表⑥ 11:15～11:35(20分)	発表⑤ 11:15～11:35(20分)	発表④ 11:15～11:35(20分)	発表⑥ 11:15～11:35(20分)
11:20	名工建設㈱ 名古屋支店	㈱福田組 東北支店	前田建設工業㈱ 中部支店	㈱竹中工務店 大阪本店	㈱大林組 四国支店
11:25	急勾配の屋根工事に対する安全対策	ICT・機械化施工を活用した	外国籍作業員の安全意識向上策	平城宮跡第一次大極殿東楼の復原	COHSMsとの融合
11:30		トンネル工事の安全確保と施工管理			
11:35	休憩 11:35～11:40(5分)	休憩 11:35～11:40(5分)	休憩 11:35～11:40(5分)	休憩 11:35～11:40(5分)	閉会挨拶 11:35～11:40(5分)
11:40	発表⑦ 11:40～12:00(20分)	講話 11:40～12:00(20分)	発表⑥ 11:40～12:00(20分)	発表⑤ 11:40～12:00(20分)	住友林業㈱
11:45	㈱竹中工務店 神戸支店	国土交通省	㈱大林組		
11:50	稼働中の生産施設に配慮した大規模改修工事における	「建設業を取り巻く現状と	性別を問わず尊厳を守る	安全体験施設の取り組み	
11:55	無事故無災害の達成に向けた安全管理の取り組み	国土交通省の取組」	工事現場の職場環境改善		
12:00					
12:10	(昼休) 12:00～12:50(50分)	(昼休) 12:00～12:50(50分)	(昼休) 12:00～12:50(50分)	(昼休) 12:00～12:50(50分)	
12:20	DVD上映	DVD上映	DVD上映	DVD上映	
12:30					
12:40					
12:50	発表⑧ 12:50～13:10(20分)	発表⑦ 12:50～13:10(20分)	発表⑦ 12:50～13:10(20分)	発表⑥ 12:50～13:10(20分)	
12:55	鹿島建設㈱ 中部支店	前田建設工業㈱ 北陸支店	戸田建設㈱ 関東支店	大和ハウス工業㈱ 中部支社	建設現場における外国人労働者への 安全指示改善に関する取り組み
13:00	市街地における高層ビル解体の	高低差180mの急峻法面における	安全ルールが目で見えて分かる		
13:05	安全性向上を目指して	落石リスク低減と無人施工の適用について	「図解 安全基準集」の取組み		
13:10	休憩 13:10～13:15(5分)	休憩 13:10～13:15(5分)	休憩 13:10～13:15(5分)	休憩 13:10～13:15(5分)	
13:15	発表⑨ 13:15～13:35(20分)	発表⑧ 13:15～13:35(20分)	発表⑧ 13:15～13:35(20分)	発表⑦ 13:15～13:35(20分)	
13:20	大和ハウス工業㈱ 本社	㈱大林組 北陸支店	矢作建設工業㈱	旭化成ホームズ㈱	解体工事の仮囲い作業を より安全で確実なものへ
13:25	Safety2.0現場を変えた：	令和6年能登半島地震の	安全衛生教育の新たなアプローチ、		
13:30	高所作業の挟まれ災害3年間の軌跡	災害復旧工事記録	安全文化醸成への道		
13:35	休憩 13:35～13:40(5分)	休憩 13:35～13:40(5分)	休憩 13:35～13:40(5分)	休憩 13:35～13:40(5分)	
13:40	発表⑩ 13:40～14:00(20分)	発表⑨ 13:40～14:00(20分)	発表⑨ 13:40～14:00(20分)	発表⑧ 13:40～14:00(20分)	
13:45	㈱大林組 東北支店	㈱熊谷組 北陸支店	仙建工業㈱	積水ハウス㈱	外国人従事者の労災削減に向けた活動
13:50	工法、設備の改善による安全性の向上	令和6年能登半島地震および	踏切幅幅に伴う水路改修工事における		
13:55		奥能登豪雨における取り組み	安全管理の実践と考察		
14:00	休憩 14:00～14:05(5分)	休憩 14:00～14:05(5分)	休憩 14:00～14:05(5分)	休憩 14:00～14:05(5分)	
14:05	発表⑪ 14:05～14:25(20分)	発表⑩ 14:05～14:25(20分)	発表⑩ 14:05～14:25(20分)	発表⑨ 14:05～14:25(20分)	
14:10	大成建設㈱ 東京支店	前田建設工業㈱ 東北支店	古郡建設㈱	㈱東京BK足場	元議会社(特定元方事業者)が建設現場に戸建住宅の足場工事に携わる 安衛法30条の元請代行責任付き安全管理業務代行サービスの開発提供
14:15	都市部における階上解体工事の	大谷トンネル暫定供用に向けた	持続可能な安全管理への挑戦		
14:20	災害防止に関する研究	取り組みについて			
14:25	休憩 14:25～14:30(5分)	休憩 14:25～14:30(5分)	休憩 14:25～14:30(5分)	休憩 14:25～14:30(5分)	
14:30	発表⑫ 14:30～14:50(20分)	発表⑪ 14:30～14:50(20分)	発表⑪ 14:30～14:50(20分)	発表⑩ 14:30～14:50(20分)	
14:35	清水建設㈱ 北陸支店	鹿島建設㈱ 四国支店	加和太建設㈱	旭化成リフォーム㈱	「繋がる現場」活動による安全意識改革
14:40	「安全管理の原点」を基盤とした	別子銅山の歴史を伝える	AIを活用した、リスク回避、		
14:45	危険源の排除と予防的安全管理に取り組む	第四通洞橋整備工事のリスク管理	安全遵守について		
14:50	休憩 14:50～14:55(5分)	休憩 14:50～14:55(5分)	休憩 14:50～14:55(5分)	休憩 14:50～14:55(5分)	
14:55	発表⑫ 14:55～15:15(20分)	発表⑫ 14:55～15:15(20分)	発表⑫ 14:55～15:15(20分)	発表⑪ 14:55～15:15(20分)	
15:00	㈱福田組 新潟本店	飛鳥建設㈱	清水建設㈱ 土木東京支店	全国低層住宅労働安全協議会じゅうたく小町部会	建設業界のイメージと 入職・継続意欲について
15:05	スタジアム屋なら改修工事において	蔵玉トンネル活線拡幅工事における	山岳土工現場における		
15:10	【事故・災害ゼロ】【イベント影響ゼロ】を目指して	安全対策	自然災害発生時のタイムライン最適化		
15:15	休憩 15:15～15:20(5分)	休憩 15:15～15:20(5分)	休憩 15:15～15:20(5分)	休憩 15:15～15:20(5分)	
15:20	発表⑬ 15:20～15:40(20分)	発表⑬ 15:20～15:40(20分)	発表⑬ 15:20～15:40(20分)	発表⑫ 15:20～15:40(20分)	
15:25	戸田建設㈱ 東京支店	大成建設㈱ 関西支店	五洋建設㈱ 東京建築支店	松井建設㈱ 北陸支店	重要文化財修理に伴う素屋根建設及び 作業性・安全性を考慮した社寺足場計画
15:30	アットホームな職場環境整備と	シールド工事における労働災害防止	外国人労働者の		
15:35	全員参加での安全衛生活動		安全意識向上を目的とした取組		
15:40	休憩 15:40～15:45(5分)	休憩 15:40～15:45(5分)	休憩 15:40～15:45(5分)	休憩 15:40～15:45(5分)	
15:45	発表⑬ 15:45～16:05(20分)	発表⑬ 15:45～16:05(20分)	発表⑬ 15:45～16:05(20分)	発表⑬ 15:45～16:05(20分)	
15:50	大成建設㈱	清水建設㈱ 北陸支店	鹿島建設㈱ 関東支店	大和ハウス工業㈱ 新潟支店	安全衛生教育WEB講座の 促進について
15:55	歴史的建造物の	山岳トンネル工事の安全管理と	災害事例集「KY図鑑」の導入		
16:00	曳家工事における安全管理	災害防止への取り組み			
16:05	閉会挨拶 16:05～16:10(5分)	閉会挨拶 16:05～16:10(5分)	閉会挨拶 16:05～16:10(5分)	閉会挨拶 16:05～16:10(5分)	

研究発表 講話 講演 能登半島地震等復旧・復興関連発表

※プログラムは変更になることもあります。
一部発表内容が異なる場合があります。

建築部会

8:45～	開 場	
9:00～9:10	開 会 挨 拶	部会長 (株)竹中工務店 役員補佐 安全環境担当 松岡 香世子
9:10～9:30 (20分)	発 表 ①	BIMシュミレーションを活用した安全性の向上 —4D、VR、デジタルツインを用い現場安全管理を最適化— 清水建設(株) 名古屋支店 建築部 工事長 渡邊 祥史 劇場建設において建物形状が複雑なため理解するのに一定時間と経験を要する。BIMシュミレーションにより仮想空間上に工事の施工モデルを確立し時間軸を加えることで4D施工ステップを確立した。仮設足場や揚重機、搬入車両等を盛り込み日々の配置計画含めた具体的な配置と実施に近い仮設計画をブラッシュアップする事で、現実に近い仮想空間を作り込み、安全計画においても最適な作業環境を整えることが可能となった。
9:30～9:35	休 憩	
9:35～9:55 (20分)	発 表 ②	建方革命！TS3(竹中新生産システム)工法の開発と実施 —省開口部、室内施工、生産性向上を実現した新工法の取組— (株)竹中工務店 東京本店作業所 作業所長 深沢 茂臣 先端生産物流の外構工事を早期化するため、柱RC造・梁S造を屏風建てにして外装を先行する工法を開発した。開口部を無くす工夫と室内工事を早期開始でき、安全で快適な作業環境を実現する画期的工法である。
9:55～10:00	休 憩	
10:00～10:20 (20分)	発 表 ③	地上高さ200mの煙突解体における安全に関する取組み —姫路第二発電所4～6号ボイラ他除却工事— 鹿島建設(株) 関西支店 関西電力姫路工事事務所 所長 藤谷 雄一郎 当工事は、稼働中の発電所構内における旧発電設備の解体工事である。 なかでも煙突については地上高さが200mあり、解体時の墜落や仮設材・火の粉・解体片等の落下のリスクを減少させるべく計画・検討を行った上で施工を行った。その結果、採用した工法や工夫について紹介する。
10:20～10:25	休 憩	
10:25～10:45 (20分)	発 表 ④	270°を海に囲まれた中での大空間アリーナ施工 —神戸アリーナ建設の厳しい制約と安全対策— (株)大林組 大阪本店 大阪トヨペット阿倍野工事事務所 所長 高橋 真一郎 三方を海に囲まれた厳しい立地条件のもと、施工ヤードや搬入条件の制約に対応しつつタイドアーチトラス屋根を施工。大空間での高所作業や狭隘な空頭制限下作業での安全確保と効率化を図り、22.5か月の短工期で無事故竣工を実現した神戸アリーナ建設の取り組みを報告する。
10:45～10:50	休 憩	
10:50～11:10 (20分)	発 表 ⑤	官公庁工事における営業線近接作業の安全管理 仙建工業(株) 仙台支店 建築部 落合建築作業所 工事係 樽井 孝太 本工事は官公庁発注であり建設地とJR営業線が近接していたため、営業線近接作業に該当するかをJR東日本と協議を行った。結果、重機や樹木伐採作業が該当した。協議から施工までに、列車の運行に支障させないような施工計画や安全管理を行い、無事故で工期内に竣工できた。
11:10～11:15	休 憩	
11:15～11:35 (20分)	発 表 ⑥	急勾配の屋根工事に対する安全対策 —BIM及びモックアップを活用した2段階検証によるリスク低減— 名工建設(株) 名古屋支店 建築工事部 田中 智久 未経験の屋根工事に対し、関係業者との協議を重ねて、BIMによる事前検討を実施し、その上でモックアップでの実地検証により施工上の問題点を具体化させ、同時に作業員の安全管理能力向上を実現させた事例。
11:35～11:40	休 憩	
11:40～12:00 (20分)	発 表 ⑦	稼働中の生産施設に配慮した大規模改修工事における無事故無災害の達成に向けた安全管理の取り組み —PPES姫路工場における8年間の歩みと成果— (株)竹中工務店 神戸支店 神戸地区FMセンター 作業所長 宮原 実雄 稼働中の大規模な生産工場棟内において、新生産ラインへ段階的にコンバージョンさせる7年間の居ながら大規模改修工事であった。期間中、生産稼働に影響を与えない様々な工夫を実践し、関係者全員への安全確保を第一に無事故・無災害を達成した記録である。
12:00～12:50	昼 休	DVD上映

12:50～13:10 (20分)	発表⑧	市街地における高層ビル解体の安全性向上を目指して —鹿島スラッシュカット工法の活用とクレームゼロへの道— 鹿島建設(株) 中部支店 千種駅前計画工事事務所 所長 野々山 祐生
		今後増加が見込まれる市街地での高層ビル解体工事においては、安全性の向上に加え、解体材や粉塵の飛散防止、騒音抑制など、環境面への配慮がより求められる。本論文ではJRや幹線道路が近接する名古屋市の市街地での高層ビルを、鹿島建設独自の「スラッシュカット工法」による吊り取り解体を実施した事例等を通じ、当現場の安全・環境管理の取り組みについて報告する。
13:10～13:15	休憩	
13:15～13:35 (20分)	発表⑨	Safety2.0現場を変えた:高所作業の挟まれ災害3年間の軌跡 —第60回広島大会で顕彰を受賞した。その後3年間の使用実績および災害発生状況を検証した。— 大和ハウス工業(株) 本社 安全統括部 課長 森 朋仁
		第60回広島大会で顕彰を受賞し、壇上発表いたしました「挟まれ防止機能付き高所作業車」について、その後3年間の使用実績および災害発生状況を検証。
13:35～13:40	休憩	
13:40～14:00 (20分)	発表⑩	工法、設備の改善による安全性の向上 —狭小敷地における高層集合住宅建築— (株)大林組 東北支店 中央四丁目工事事務所 所長 今道 容
		周辺に車両・人通りが非常に多く様々な制約の中での施工にあたり、工事序盤から終盤を想定して、作業しやすさを最優先した計画を基本とした。敷地外の第三者に接する作業場面では、第三者目線を最優先した計画で、手戻りや作業ロスの削減と第三者に対する不安削減と安全対策を実施した。
14:00～14:05	休憩	
14:05～14:25 (20分)	発表⑪	都市部における階上解体工事の災害防止に関する研究 —実務経験に基づく解体工事の手引き— 大成建設(株) 東京支店 有楽町ビル・新有楽町ビル解体工事 建築部 課長 平崎 彰
		本論文は、都市部における階上解体工事を対象に、構造検討、仮設計画、重機揚重、施工手順等の実務経験から得た災害防止の要点を整理し、安全確保に有効な知見を示したものである。
14:25～14:30	休憩	
14:30～14:50 (20分)	発表⑫	「安全管理の原点」を基盤とした危険源の排除と予防的安全管理に取り組む —安全意識向上・施工方法の改善と多角的教育による災害防止— 清水建設(株) 北陸支店 建築第一部 工事長 藪下 昌輝
		「安全管理の原点」を基盤とした危険源の排除と予防的安全管理に取り組む。
14:50～14:55	休憩	
14:55～15:15 (20分)	発表⑬	スタジアム居ながら改修工事において【事故・災害ゼロ】【イベント影響ゼロ】を目指して (株)福田組 新潟本店 建築部 工事所長 川瀬 知也
		供用中のスタジアム屋根改修工事において、イベント開催に影響を最小限に抑えるよう配慮し、第三者の安全確保に努めて施工するための施工計画を作成した。少ない人員で、広大な作業エリアの管理を行うため、デジタル・ICTツールを活用した。
15:15～15:20	休憩	
15:20～15:40 (20分)	発表⑭	アットホームな職場環境整備と全員参加での安全衛生活動 戸田建設(株) 東京支店 建築工事部 作業所長 吉田 和弘
		「全員参加で、作業手順とルールを守り、安全作業に誇をもとう」の安全衛生スローガンのもと、管理しやすい施工計画の立案に加え、職長会との合同での安全衛生活動を積極的に展開した。職長のみならず、副職長や若手作業員が職長会行事に参加することで、他職との作業員間でのコミュニケーションがより良く取れるようになり、工事の円滑化と安全性の向上に寄与した。
15:40～15:45	休憩	
15:45～16:05 (20分)	発表⑮	歴史的建造物の曳家工事における安全管理 —曳家工事における転倒及び倒壊災害の防止の取り組み— 大成建設(株) 西谷浄水場再整備事業(浄水処理施設)に係る整備工事 作業所 工事担当 梅本 彩緒里
		1915(大正4年)に建設された煉瓦造平屋建ての歴史的建造物を最大250m離れた場所に曳家する際の転倒及び倒壊災害防止に配慮した安全対策・耐震補強工事を紹介する。
16:05～16:10	閉会挨拶	副部会長 大成建設(株) 北信越支店 安全・環境部長 中嶋 敦

土木部会

8:45～	開 場	
9:00～9:10	開 会 挨 拶	部会長 大成建設(株) 本社 安全本部 安全部 安全指導室 部長代理 浅野 健一郎
9:10～9:30 (20分)	発 表 ①	成瀬ダム堤体打設工事における遠隔技術を活用した安全管理について —大規模ダム工事におけるICT活用の取り組み— 鹿島建設(株) 東北支店 成瀬ダム堤体打設JV工事事務所 課長 高橋 勝也 成瀬ダムは、秋田県雄勝郡東成瀬村に建設中の台形CSGダムであり、同型式としては国内最大規模である。当現場は東北地方でも有数の豪雪地帯に位置しているため、CSGおよびコンクリートの打設期間は4月中旬～11月中旬の7ヵ月と限定されている。短い施工期間に安全確保を前提に効率的な施工が求められ、この要求を満足するために遠隔技術を主としてICTを活用した安全管理を行った。その取り組みについて紹介する。
9:30～9:35	休 憩	
9:35～9:55 (20分)	発 表 ②	シールド工事におけるICT・AI活用による次世代の安全衛生管理手法 —「注意喚起型」から「仕組み型」への安全衛生管理の変革— (株)大林組 東京本店 外環中央BランプJV工事事務所 工事課長 沓澤 雄飛 従来の巡視や声掛けによる「注意喚起型」安全衛生管理手法から、ICT・AIを活用した先端技術により、不安全な状態を検知して自動アラート発報する「仕組み型」管理手法への変革に取り組んだ。本研究論文では、シールド工事に適用した6つの先端技術について述べる。
9:55～10:00	休 憩	
10:00～10:20 (20分)	発 表 ③	「橋まくらぎ交換機」導入に伴う安全対策 —実地検証を取り入れたリスク低減の試み— 名工建設(株) 名古屋軌道部 林 晃規 本論文は、JR東海在来線の橋梁上のまくらぎ交換に対する機械化計画に際して、2段階の実地検証を行ったことで、不安要素を効果的に抽出・解消できた事例を紹介する。
10:20～10:25	休 憩	
10:25～10:45 (20分)	発 表 ④	橋梁上部工事の安全管理の取り組み —高所かつ狭隘ヤードにおける創意工夫— 清水建設(株) 関西支店 土木部 監理技術者 渡辺 晃一 本論文は、狭隘かつ高所条件下にある橋梁上部工事の安全管理事例である。重機接触や飛来落下防止のため、AIカメラ等のデジタル技術と、見える化等のアナログ対策を融合させた。これら創意工夫によりリスクを低減し、無事故・無災害で完遂した取り組みを報告する。
10:45～10:50	休 憩	
10:50～11:10 (20分)	発 表 ⑤	圧入ケーソン工法における狭隘な施工環境での安全対策 —近隣住民と信頼関係を築き円滑な工事を実現— (株)森組 施工部 寝屋川流域下水道枚岡河内中央増補幹線立坑築造工事 工事所長 森浦 哲浩 当工事は、狭隘な施工ヤード内で大型重機を使用するため、場内での接触事故防止に注力しました。また、工事を円滑に進めるため近隣住民とコミュニケーションを図り、信頼関係を築くことに努めました。前提安全の意識により進めた各種対策について紹介します。
11:10～11:15	休 憩	
11:15～11:35 (20分)	発 表 ⑥	ICT・機械化施工を活用したトンネル工事の安全確保と施工管理 —国道13号浅川トンネル工事の事例とその効果— (株)福田組 東北支店 土木部 浅川トンネル作業所 工事所長 大道 康晴 厳しい地質や近接構造物による高リスク環境下でICTと機械化施工を導入し、切羽作業の安全性向上、車両事故リスクの低減、地山評価の高度化など多面的な効果が得られた。一方で、ICT機器の維持管理や運用ルール整備、作業員教育などの課題も残されている。
11:35～11:40	休 憩	
11:40～12:00 (20分)	講 話	建設業を取り巻く現状と国土交通省の取組 国土交通省 不動産・建設経済局 建設振興課 専門工事業・建設関連業振興室長 近藤 陽介 建設業の現状や課題について、最新のデータを用いて解説するとともに、昨年全面施行された第三次担い手3法に基づく技能者の処遇改善などの国土交通省の取組を紹介する。また、建設職人基本法や改正建設業法に基づく安全衛生経費の適切な支払いに向けた取組について説明する。
12:00～12:50	昼 休	DVD上映

12:50～13:10	発表⑦	高低差180mの急峻法面における落石リスク低減と無人施工の適用について —高所法面工事における仮設二重防護工と遠隔・無人施工による安全確保の取り組み—
(20分)		前田建設工業(株) 北陸支店 珠洲真浦作業所 所長 関根 智之
能登半島地震等 復旧・復興関連発表		能登半島地震および豪雨災害により崩落した直高約180mの急峻法面において、国道交通を確保しながら落石リスク低減を図った施工事例を報告する。仮設ロックシェッドと保護盛土による二重防護工に加え、無人施工を活用し、安全性と施工性の向上を図った。
13:10～13:15	休憩	
13:15～13:35	発表⑧	令和6年能登半島地震の災害復旧工事記録 —初動対応と先端技術の活用—
(20分)		(株)大林組 北陸支店 能登半島災害復旧工事事務所 所長 西中 淳一
能登半島地震等 復旧・復興関連発表		令和6年元日に発生した能登半島地震、また同年9月21日に発生した奥能登豪雨災害においてインフラや復旧方法等が整わない中で初動対応、および復旧作業中に現場従事者が二次災害に巻き込まれないDX・ICT技術を取り入れた安全対策について報告する。
13:35～13:40	休憩	
13:40～14:00	発表⑨	令和6年能登半島地震および奥能登豪雨における取り組み —災害対応工事における取組み—
(20分)		(株)熊谷組 北陸支店 土木事業部 土木部 主任 石山 正太郎
能登半島地震等 復旧・復興関連発表		2024年(令和6年)1月1日に発生した令和6年能登半島地震、その後同年9月20日に発生した奥能登豪雨により、能登地域は今までにない災害被害により、道路、電気、上下水道が完全に寸断されました。この状況下で災害復興緊急対策として、崩落した土砂の上に工事用道路を造成し、後続の復旧工事の円滑化及び、地域の早期復興に寄与することを目指して工事を実施いたしました。本稿では、施工の過程で導入したICT建機や無人化施工などの先端技術の活用や、豪雨災害という予期せぬ事態に対して実施した技術的な対応について、その詳細を記述いたします。
14:00～14:05	休憩	
14:05～14:25	発表⑩	大谷トンネル暫定供用に向けた取り組みについて
(20分)		前田建設工業(株) 東北支店 東松トンネル作業所 所長 賀川 昌純
能登半島地震等 復旧・復興関連発表		本稿は、【大谷トンネル暫定供用に向けた取り組みについて】と題し、令和6年能登半島地震時に発生した地すべりの影響を受けて損壊した大谷トンネル暫定供用に向け、かれき処理、覆工コンクリート解体、トンネル補強対策までの工事期間内に取り組んできた数々の安全対策について述べるものである。
14:25～14:30	休憩	
14:30～14:50	発表⑪	別子銅山の歴史を伝える第四通洞橋整備工事のリスク管理 —未経験分野の歴史的建造物修復におけるリスク回避のカギとは—
(20分)		鹿島建設(株) 四国支店 住鉱第四通洞橋整備工事事務所 所長 吉田 浩
		日本三大銅山である別子銅山にかかる築107年の第四通洞橋を保存整備する工事である。発注者が実施した調査に基づき基本計画案が調査会社により作成された。当社はこの基本計画の再検討と最善な計画案の立案、安全な施工を担うことになった。大正時代の建造物であることから当時の材料の品質規定が不明であり強度検討ができない中、足場等仮設荷重をかけることへのリスクなどを扱い出し、銅橋施工経験のない事業者が手探りで基本計画の再検討を行った。詳細計画、施工を進める時点で経験豊富な専門業者や調査会社が見つかり、リスク回避に大切なものとは何か、事業者が実感した経験を記載した。
14:50～14:55	休憩	
14:55～15:15	発表⑫	蔵玉トンネル活線拡幅工事における安全対策 —小断面トンネルを拡幅する「活線拡幅」を採用した安全管理の工夫について—
(20分)		飛鳥建設(株) 土木本部 蔵玉トンネル作業所 所長 野地 敦夫
		本工事は、千葉県君津市に位置する1953年に建設された国道465号を拡幅する工事である。当該道路は緊急輸送道路一次路線にも指定されている重要な路線のため、2車線化を行うものである。当該隧道周囲には迂回路がないことから、工事の際には一般車の通行を許容したまま既設トンネルを拡幅する「活線拡幅施工」を行わなければならない。また、終点側坑口周辺に民家があり、一般車の安全はもとより周辺環境にも配慮が求められる難工事であった。
15:15～15:20	休憩	
15:20～15:40	発表⑬	シールド工事における労働災害防止 —立坑資材投入、狭隘な坑内での材料運搬方法改善について—
(20分)		大成建設(株) 関西支店 門真守口シールド第2工区作業所 工事主任 高橋 洋平
		本工事は、大阪府の浸水被害軽減対策として泥土圧式シールドトンネル(仕上り内径φ2800mm、L=1672m)、および分水施設2か所を築造するものである。本工事では、①地上での頻繁な資材荷降ろし、仮置き時の挟まれ災害、②深さ約20mの立坑への資材投入時の飛来落下災害、③狭隘なトンネル内での資材運搬中の機械関連災害が懸念された。対策として、①資材置き場の工夫、セグメント揚重時の挟まれ防止設備の設置、②立坑資材揚重時の玉掛けの工夫、吊荷下方退避確認設備の設置、③坑内資材運搬時の接触防止設備の設置を実施し、無事故・無災害でシールド工事を完了させることができた。
15:40～15:45	休憩	
15:45～16:05	発表⑭	山岳トンネル工事の安全管理と災害防止への取り組み —安全文化の醸成、新技術導入、施工方法の改善・工夫—
(20分)		清水建設(株) 北陸支店 土木部 利賀トンネル作業所 工事長 福岡 幸治
		山岳トンネル工事の切羽作業は肌落ち災害リスクが高く、熟練者減少や技術開発の過渡期等が課題である。本工事では、安全文化醸成、新技術導入、施工方法改善の3本柱で肌落ち災害防止に重点的に取り組み、トンネル掘削作業における重篤災害ゼロを達成した。
16:05～16:10	閉会挨拶	副部会長 五洋建設(株) 北陸支店(兼) 能登事務所 安全品質環境部長 大友 芳浩

安全衛生教育部会

8:45～	開 場	
9:00～9:10	開 会 挨 拶	部会長 戸田建設(株) 安全品質環境管理本部 安全管理統轄部 安全管理1部 専任役 小澤 重雄
9:10～9:30 (20分)	講 話	労働災害防止に向けた最近の厚生労働省の取り組み 厚生労働省労働基準局 安全衛生部 安全課 建設・個人事業者安全対策室長 船井 雄一郎 最近の建設業における労働災害の動向や2025年に改正された労働安全衛生法に基づく措置、現在検討が進められている無人運転機械の安全対策、職場における熱中症対策など、労働災害防止に向けた厚生労働省の取組について解説する。
9:30～9:35	休 憩	
9:35～9:55 (20分)	発 表 ①	「時間がない現場」で安全を守る ―教育効率と安全性を両立するデジタル活用の効果― (株)熊谷組 中四国支店 安全部 池田 真央 建設業における人材構成の多様化と時間制約の進行を背景に、新規入場者教育の課題を整理し、動画教育を中心としたデジタル教育手法を導入した。その結果、教育品質の均一化と業務効率化を実現し、安全行動の定着を通じて労働災害の大幅な低減につながった。
9:55～10:00	休 憩	
10:00～10:20 (20分)	発 表 ②	次世代へ魅力的な建設業界をアピール ―未来は話した言葉で作られる― 東急建設(株) 首都圏建築支店 建築事業本部技術部統括部 デジタルエンジニアリング部 専任部長 大山 茂雄 現在はベトナムに出張し、現場で使える日本の現場技術を他国の若手に伝承をさせて頂いております。本日は以前に私が現場所長として指揮をとり、若手と将来の現場の理想を求めてチャレンジした内容を紹介させていただきます。皆様の気づきにお役立ちできたら幸いです。
10:20～10:25	休 憩	
10:25～10:45 (20分)	発 表 ③	やさしい日本語プロジェクト ～やさしい日本語で働こう～ ―技能実習生向け安全教育と、協力会社・職長への働きかけ― 鹿島建設(株) 関西支店 安全環境部 安全環境グループ 課長代理 楠瀬 沙織 近年、外国人技能者が災害にあうケースが増加しており、要因の一つとして日本語の理解が不十分なことがあげられている。鹿島関西支店では「やさしい日本語プロジェクト」として、やさしい日本語を用いた安全教育やコミュニケーションに取り組んでおり、その活動について紹介する。
10:45～10:50	休 憩	
10:50～11:10 (20分)	発 表 ④	外国人労働者の労働災害防止に向けた日本語上達と安全教育を同時に高める実践的アプローチ ―日記(日常メモ)と鉄建式KYカードを活用した低負担かつ継続可能な教育手法の検証― 鉄建建設(株) 東北支店 安全品質環境部 担当部長 高井 敏行 外国人労働者の労働災害防止に向けた日本語上達と安全教育を同時に高める実践的アプローチ。
11:10～11:15	休 憩	
11:15～11:35 (20分)	発 表 ⑤	外国籍作業員の安全意識向上策 ―コミュニケーション方法の確立― 前田建設工業(株) 中部支店 建築部 作業所長 北川 直樹 建設業において労務不足、作業員の確保という課題は日に日に深刻化しており、もはや外国籍作業員は欠かせない存在となっている。様々な文化や言語を持った作業員一人ひとりに対して、作業所で講じたコミュニケーション方法、およびモチベーションアップによるパフォーマンスの最大化事例を紹介する。
11:35～11:40	休 憩	
11:40～12:00 (20分)	発 表 ⑥	性別を問わず尊厳を守る工事現場の職場環境改善 ―高齢者や女性に優しい現場づくりを軸としたユニバーサル安全対策― (株)大林組 天神1-7土木工事事務所 所長 山本 美穂 女性作業員の困りごとを起点に、工事現場での生理用品自動補充、身体を見せない救急体制の確立、給水リュックなどの工夫により、性別や年齢を問わず尊厳と安全を守るユニバーサルな職場環境を構築した。
12:00～12:50	昼 休	DVD上映
12:50～13:10 (20分)	発 表 ⑦	安全ルールが目で見えて分かる「図解 安全基準集」の取組み 戸田建設(株) 関東支店 安全管理部 シニアアドバイザー 山本 丈二 リスクアセスメントの基本となる様々なルールには文章が多いため理解しづらいものが多い。写真やイラストを多用することで、視覚的・直感的に誰もが理解しやすいルールブック「図解 安全基準集」の作成までの経緯、改定、進化について報告する。

13:10～13:15	休	憩	
13:15～13:35 (20分)	発	表 ⑧	安全衛生教育の新たなアプローチ、安全文化醸成への道 —「やり方」から「あり方」へ、組織のDNAを書き換える挑戦— 矢作建設工業(株) 安全環境品質本部 安全環境部 安全環境部長 紀伊 保 慢性的な人手不足を背景に、現場におけるOJTの機能不全と、それに起因する若年層および外国人労働者の労働災害が課題となっている。そこで、安全衛生教育を抜本的に見直し、安全文化を再醸成するための科学的・実践的アプローチとその成果について報告する。
13:35～13:40	休	憩	
13:40～14:00 (20分)	発	表 ⑨	踏切拡幅に伴う水路改修工事における安全管理の実践と考察 —鉄道近接工事におけるリスクの低減の検討— 仙建工業(株) 土木部 工事主任 國分 万輝 踏切拡幅に伴う水路改修工事における安全管理の実践と考察と題しまして、現場での分単位の工程管理による触車防止と、点群データ活用による感電防止対策を実施した。さらにPDCAを継続運用し、安全性向上と作業効率改善を実現した鉄道近接工事の安全管理手法を報告とする。
14:00～14:05	休	憩	
14:05～14:25 (20分)	発	表 ⑩	持続可能な安全管理への挑戦 —安全担当者は自ら働き?安全のハブとなる?— 古郡建設(株) 安全管理課 課長 権田 孝 本報告は、チーズモデルとスリーステップで安全管理を体系化し、ヒヤリハット統計によるリスク可視化、モデリー導入による本質安全化、接触防止等の機能安全化、作業手順書のクラウド化と社内講師による教育で無事故継続を目指している。従来の「経験と勘」頼みの管理から脱却し、再発防止と安全成績の改善につなげている。
14:25～14:30	休	憩	
14:30～14:50 (20分)	発	表 ⑪	AIを活用した、リスク回避、安全遵守について —NotebookLMやAIを使用した情報検索— 加和太建設(株) 安全管理部 メンバー 長島 智子 Googleのサービスを活用し、現場職員が安全に関する社内ルールを簡単に検索できる仕組みを作ったり、現場写真を撮影し、AIで現場の危険な箇所を洗い出しさせる機能を使ったり、と現場経験が浅い者でも最低限の安全を守ることができる施策について記載しています。
14:50～14:55	休	憩	
14:55～15:15 (20分)	発	表 ⑫	山岳土工現場における自然災害発生時のタイムライン最適化 —ICT-FULL活用工事における自然災害防止の取り組み— 清水建設(株) 土木東京支店 新東名高速道路川西工事作業所 副所長 池田 昇平 気候変動による大雨の発生頻度増加を受け、山岳建設現場である当現場では、ICTツールを導入した自然災害タイムラインを運用している。点群を活用したハザードマップや気象システム・水位計による作業実施判断、遠隔地からの被災状況確認による防災対応を強化している。
15:15～15:20	休	憩	
15:20～15:40 (20分)	発	表 ⑬	外国人労働者の安全意識向上を目的とした取組 —AI翻訳機を活用した外国人労働者とのコミュニケーション— 五洋建設(株) 東京建築支店 特定工事所長 富田 和明 外国人労働者との言語の壁に対し、AI翻訳機「ポケトーク」と外国人主体の安全組織「DE&I五砂会」を導入した。双方向の意思疎通と心理的安全性の確保により、ルール理解の深化と現場の活性化を実現し、無災害を継続している安全管理事例である。
15:40～15:45	休	憩	
15:45～16:05 (20分)	発	表 ⑭	災害事例集「KY図鑑」の導入 —危険感受性を磨くトレーニングの取り組み事例— 鹿島建設(株) 関東支店 安全環境部 次長 大塚 隆 現場の災害、事故を防ぐ要所となるのは、目に見える危険だけではなく違和感や兆候に気づく「危険感受性」である。技能者の危険感受性を磨くトレーニングとして、新たに災害事例集「KY図鑑」を作成し、情景が浮かぶKY活動に取り入れた。「過去の災害は教訓であり、教科書である」という考えのもと、「こんな行動で災害を起こしてしまうのか」、「自分は同ような災害を起こさない」という意識を持たせることが重要。安全衛生教育に新たに取り入れた「見てわかりやすい」ツールで理解度をより深める取り組みを紹介。
16:05～16:10	閉	会 挨拶	副部会長 (株)加賀田組 安全品質環境室長 顧問 金子 剛

低層住宅部会

8:45～	開 場	
9:00～9:10	開 会 挨 拶	部会長 積水ハウス(株) 施工管理部 施工安全管理グループ グループリーダー 真鍋 勝重
9:10～9:30 (20分)	発 表 ①	建設現場における従事者高齢化対策 一社員職方(技能工)の増員一 旭化成ホームズコンストラクション(株) 技術部 技術一課 高橋 功二 建設現場で進む高齢化と人手不足に対応するため、社員職方(技能工)の計画的な増員・育成を進める一方、高齢従事者への面談強化や安全ルール整備を実施。若手育成と高齢者支援を両立し、持続可能で安全なヘーベルハウスの施工体制構築を目指す取り組み。
9:30～9:35	休 憩	
9:35～9:55 (20分)	発 表 ②	新たな化学物質規制に係る対応 一新規制を踏まえた実践的管理体制の構築一 積水ハウス(株) 施工管理部 施工安全管理グループ チームリーダー 古瀬 佑馬 労働安全衛生法の新たな化学物質規制を踏まえ、施工現場の健康障害防止と負担軽減の観点から元請けとして取り組んだ体制構築(化学物質管理、SDS管理、化学物質RAの実施)について報告する。
9:55～10:00	休 憩	
10:00～10:45 (45分)	講 演	足場先行工法 ～その始まりと定着までの記録～ 元 新潟労働局 安全衛生課長 若井 岩夫 氏 1943年生まれ。高校卒業後、建設会社に勤務したのち、1964年に新潟労働基準局(現・新潟労働局)へ入局。労働行政に長年携わり、主に産業安全分野において専門性を高める。産業安全専門官などを歴任し、現場に根差した安全対策の推進に尽力した。 2003年新潟労働局安全衛生課長を最後に退職。その後は建設業労働災害防止協会新潟県支部にて、事務局長補佐・長岡駐在室長を務めるなど、建設業における労働災害防止と安全意識の向上に貢献している。 
	講 演	現在、木造住宅の建築では、軸組み作業の前に足場を設置することが一般的である。この工法は「足場先行工法」と呼ばれている。この工法に出会ったのは昭和55年(1980年)のことで、当初は名称や設置基準もなく、まだ確立された工法ではなかった。これを「足場先行設置工法」と名付け、昭和58年(1983年)にレポートとしてまとめた。その後、12～13年を経て、当時の労働省(現・厚生労働省)による「足場先行工法に関するガイドライン」の策定へとつながった。新潟県十日町市の一人の木工から始まった工法が全国に広がるまでの歩みをたどる内容である。
10:45～10:50	休 憩	
10:50～11:10 (20分)	発 表 ③	遠隔による安全管理業務の有効性について 一デジタルツールの活用と安全意識の向上一 大和ハウス工業(株) 主任技術者 小林 幸義 本研究では、定点カメラを活用した遠隔施工管理を導入し、是正指摘・是正報告の継続運用による安全意識向上および安全行動定着への効果を検証した。その結果、指摘件数の減少と安全文化の定着に一定の有効性が確認された。
11:10～11:15	休 憩	
11:15～11:35 (20分)	発 表 ④	平城宮跡第一次大極殿院東楼の復原 一デジタル技術を活用し、伝統技術をより安全に後世に繋いでいく一 (株)竹中工務店 大阪本店 主任 谷崎 俊介 平城宮大極殿院東楼の復原工事において、伝統木造技術とデジタル技術を融合し、3Dモデルによる工程計画や安全設備の工夫、熱中症対策・安全教育を徹底。限られた熟練技能者の中で効率的な施工を実現し、無事故無災害で工期を達成するとともに、伝統技術の継承と安全な職場づくりを推進した。
11:35～11:40	休 憩	
11:40～12:00 (20分)	発 表 ⑤	安全体験施設の取り組み 一元請けが行う教育活動の新たな価値の創造一 住友林業(株) 安全・環境・検査室 マネージャー 宇田 章弘 過去に何度か企画したことはあったが実現出来なかった安全体験施設を初めて当社で作り、工事関係者に労働災害の危険性をリアルに体感してもらうことにした。当社の安全衛生管理方針の基本方針「安全文化の浸透」を更に推進する。
12:00～12:50	昼 休	DVD 上映
12:50～13:10 (20分)	発 表 ⑥	建設現場における外国人労働者への安全指示改善に関する取り組み 一翻訳アプリ活用によるコミュニケーション向上の試み一 大和ハウス工業(株) 中部支社 集合住宅工事部静岡工事第二課(沼津) 課長 中井 俊介 近年、建設業界では深刻な人手不足を背景として、外国人労働者の受け入れが急速に進んでいる。しかし、現場では日本語によるコミュニケーションが十分に成立せず、安全指示が正確に伝わらないことで災害発生率が高まっているという課題が顕著となっている。本論文では、その改善策として翻訳アプリの活用を提案する。
13:10～13:15	休 憩	

13:15～13:35 (20分)	発表⑦	解体工事の仮囲い作業をより安全で確実なものへ ―「守られる安全」から「自ら守る安全」へ― 旭化成ホームズ(株) 施工推進部 安全・品質グループ 安全担当 渡辺 浩之
		仮囲い作業で繰り返される墜転落災害を受け、現場の声を踏まえた2405改訂では建地ピッチ1.5m方式を導入。 作業性と安心感を高め、省略行動を防ぎ、安全性向上を実現した取り組み。
13:35～13:40	休憩	
13:40～14:00 (20分)	発表⑧	外国人従事者の労災削減に向けた活動 ―多国籍化する現場に対応した安全教育・安全標識― 積水ハウス(株) 施工管理部 施工安全管理グループ 上月 理紗
		近年外国人従事者の増加に伴い、外国人従事者における労働災害発生数も増加傾向にあることから外国人従事者に特化した安全対策が必要であると考えられる。本発表では、外国人従事者の労働災害削減を目指し取り組んだ、外国人従事者向けの教育資料整備とユニバーサルな安全標識への統一化について紹介する。
14:00～14:05	休憩	
14:05～14:25 (20分)	発表⑨	元請会社(特定元方事業者)が常駐困難な戸建住宅の足場工事に関わる 安衛法30条の元請代行責任付き安全管理業務代行サービスの開発推移 (株)東京BK足場 取締役副社長 栗山 拓人
		大成建設(株)住宅事業部労務安全課と当社と共同で「ビケ足場施工マニュアル」・「ビケプレート」の製作から始まり、「足場工事下請負契約」の安全管理体制の業務フローの改善から「足場施工レンタル工事下請負契約」そして、BK足場レンタルに伴う安全管理業務代行サービスの「BKレンタルシステム商取引契約」まで、特定元方事業者が行う安全管理業務代行サービスの開発推移です。
14:25～14:30	休憩	
14:30～14:50 (20分)	発表⑩	「繋がる現場」活動による安全意識改革 ―安全推進活動の見える化、安全について自走できる工事店を目指して― 旭化成リフォーム(株) 技術部 施工グループ 安全担当 木原 勝彦
		住宅リフォーム工事現場の特性であるお客様の住まいながらの工事に対する安全衛生推進活動を「繋がる現場」と題し活動。 リフォーム工事現場での「繋がる」を「アン・シン・カン」で言語化し再構築。作業者の安全意識改革に取り組んだ。
14:50～14:55	休憩	
14:55～15:15 (20分)	発表⑪	建設業界のイメージと入職・継続意欲について ―建設業界のイメージと入職・継続意欲について― 全国低層住宅労務安全協議会 じゅうたく小町部会 杉野 仁美
		建設業界が自分の子供や、身近な若者へ勧めたい業界であるのかのアンケートを実施し、建設業界の中から感じるイメージと、外から感じるイメージの違いを比較し、建設業界の課題を明確化し、改善への提言を行う。
15:15～15:20	休憩	
15:20～15:40 (20分)	発表⑫	重要文化財修理に伴う素屋根建設及び作業性・安全性を考慮した社寺足場計画 ―文化財と人を守る素屋根― 松井建設(株) 北陸支店 建築部 工事課 作業所長 駒橋 隆行
		重要文化財西福寺御影堂の修理工事において、S造大型テント方式素屋根を建設。素屋根からのつり足場や鉄骨ステージの採用により、建物への接触回避と作業効率向上を両立させた。13年に及ぶ長期工事の安全性と利便性を追求し、無事故・無災害を目指す。
15:40～15:45	休憩	
15:45～16:05 (20分)	発表⑬	安全衛生教育WEB講座の促進について ―大和ハウス工業株式会社新潟支店の実施状況と考察― 大和ハウス工業(株) 新潟支店 安全管理課 主任技術者 草野 太一
		2023年度から大和ハウス協会の連合会と大和ハウス工業(株)で展開してきた安全衛生教育WEB講座の大和ハウス工業(株)新潟支店における促進状況と考察です。
16:05～16:10	閉会挨拶	副部会長 ミサワホーム北越(株) 執行役員 経営推進本部長 兼 経営推進部長 田村 俊也

コスモス部会

8:45～	開 場	
9:00～9:10	開 会 挨 拶	部会長 (株)熊谷組 本社 安全本部 副本部長 安全推進部長 大川原 英治
9:10～9:30 (20分)	発 表 ①	コスモス導入後の課題・解決と今後の取組みについて ー労働災害防止に向けたPDCAサイクルー 広成建設(株) 施工本部 安全推進室 担当課長 迫田 雅史 コスモスを導入して、当社の安全衛生活動の取組みを実施していく中で、現場のPDCAが十分に機能していないことと労働災害が減少しない課題が見えてきたため、PDCAサイクルを回すための支援・指導、予兆管理活動の推進などに取組んだ。
9:30～9:35	休 憩	
9:35～9:55 (20分)	発 表 ②	東レ建設が取り組むコスモス運用術向上への挑戦 ー現場のリーダー育成がシステム運用を支えるwell-beingの取組みー 東レ建設(株) 安全環境部 安全環境部長 鳥越 茂徳 2009年にCOSHMS認証取得をし、導入期から現在までの変遷の中での課題と改善について発表し、安全衛生管理の変革について報告する。又、基本的な安全施工取組と新たな取組みとしての「安全話し込み活動」を通じたマンネリ化防止とwell-being(良い状態)に向けた今後の展望を発表する。
9:55～10:00	休 憩	
10:00～10:20 (20分)	発 表 ③	福田コスモスの取組みについて ーオーサスからコスモス移行への記録ー (株)福田組 安全環境・品質管理部 参与 木村 大 当社がCOHSMS認定を目指した経緯と、定取得のために福田OHSMSから福田COHSMSに変わるために行ったこと。今回、「新潟本店の工事に限る」認定を取得したことによる、今後の展望について。
10:20～10:25	休 憩	
10:25～10:45 (20分)	発 表 ④	自社におけるCOHSMSの取組みと活用法 ーCOHSMS認定後の安全衛生活動及び意識の変化ー (株)竹中土木 生産本部 労務安全部 課長 中澤 慎近 昨年は、「竹中土木 COHSMS全店一括認定への挑戦」ということで、論文発表を行いました。今回の論文では、COHSMS認定後の安全衛生活動及び意識の変化による当社の取組みについてご紹介をいたします。
10:45～10:50	休 憩	
10:50～11:10 (20分)	発 表 ⑤	川建コスモス 安全衛生水準のさらなる向上を目指して ーPDCAサイクルによるスパイラルアップー 川中島建設(株) 安全・品質管理部 主任 向山 美佳 当社では、安全衛生水準を向上させるために「川建コスモス」を策定・運用しております。安全衛生目標の設定の工夫やシステム監査の効果的な実施など、PDCAサイクルによるスパイラルアップを図る取組みを紹介します。
11:10～11:15	休 憩	
11:15～11:35 (20分)	発 表 ⑥	COHSMSとの融合 ーCOHSMSと大林組労働安全衛生マネジメントシステムの対比によるPDCAの再確認ー (株)大林組 四国支店 安全部 エキスパート 宗 慎也 COHSMSの導入により安全衛生活動のPDCAが重複することなく効率的に実施され、形骸化していないかを確認、また、大林組四国支店独自の取組みが労働災害等の潜在的危険性の低減に本当に繋がっているのか、COHSMSの認定基準と融合することにより対比が可能となり、客観的に確認が可能となりました。
11:35～11:40	閉 会 挨 拶	建設業労働災害防止協会 事業部長 鈴木 伸宏

13:00～15:00 **コスモスレベルアップミーティング(ホテル日航新潟4階「朱鷺B」)**
 ※参加は事前に登録されたコスモス認定企業に限ります。

安全体感車両のご紹介

本大会では、建設業における労働災害防止の最前線を体験いただく機会として、清水建設株式会社の移動型安全道場「甕割号（かめわりごう）」および鹿島建設株式会社の移動型安全体験施設「Kajima Safety Caravan（カジマセーフティーキャラバン）」を特別展示いたします。いずれも、建設現場で起こり得る危険を“見える化”し、体験を通じて安全意識の向上を図ることを目的として開発されたものです。ぜひこの機会にご体験ください。



甕割号



Kajima Safety Caravan

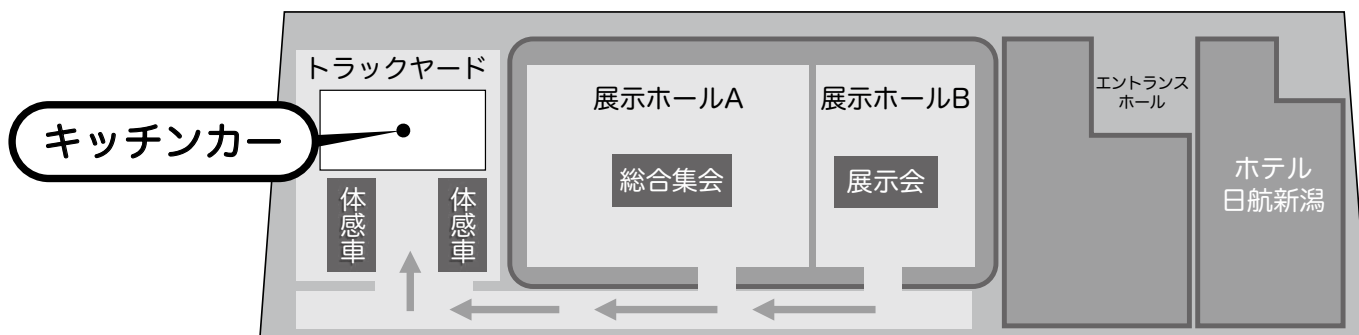
大会初日・2日目 キッチンカー出店のご案内

朱鷺メッセはレストラン等が少ないため、10月8日（木）・9日（金）の両日、**朱鷺メッセ1階トラックヤード**にて、キッチンカーを出店します。

なお、初日[8日（木）]は、キッチンカー周辺及び、朱鷺メッセ展示ホールA内で飲食可能です。2日目[9日（金）]は、キッチンカー周辺及び、朱鷺メッセ内の各会場内で飲食可能です。

また、食べ終わった後のゴミは、キッチンカー等のゴミ箱へ入れてください。ご協力をお願いいたします。

朱鷺メッセ（新潟コンベンションセンター）：1階



参加者の皆様へ

○ 安全衛生関係情報の提供

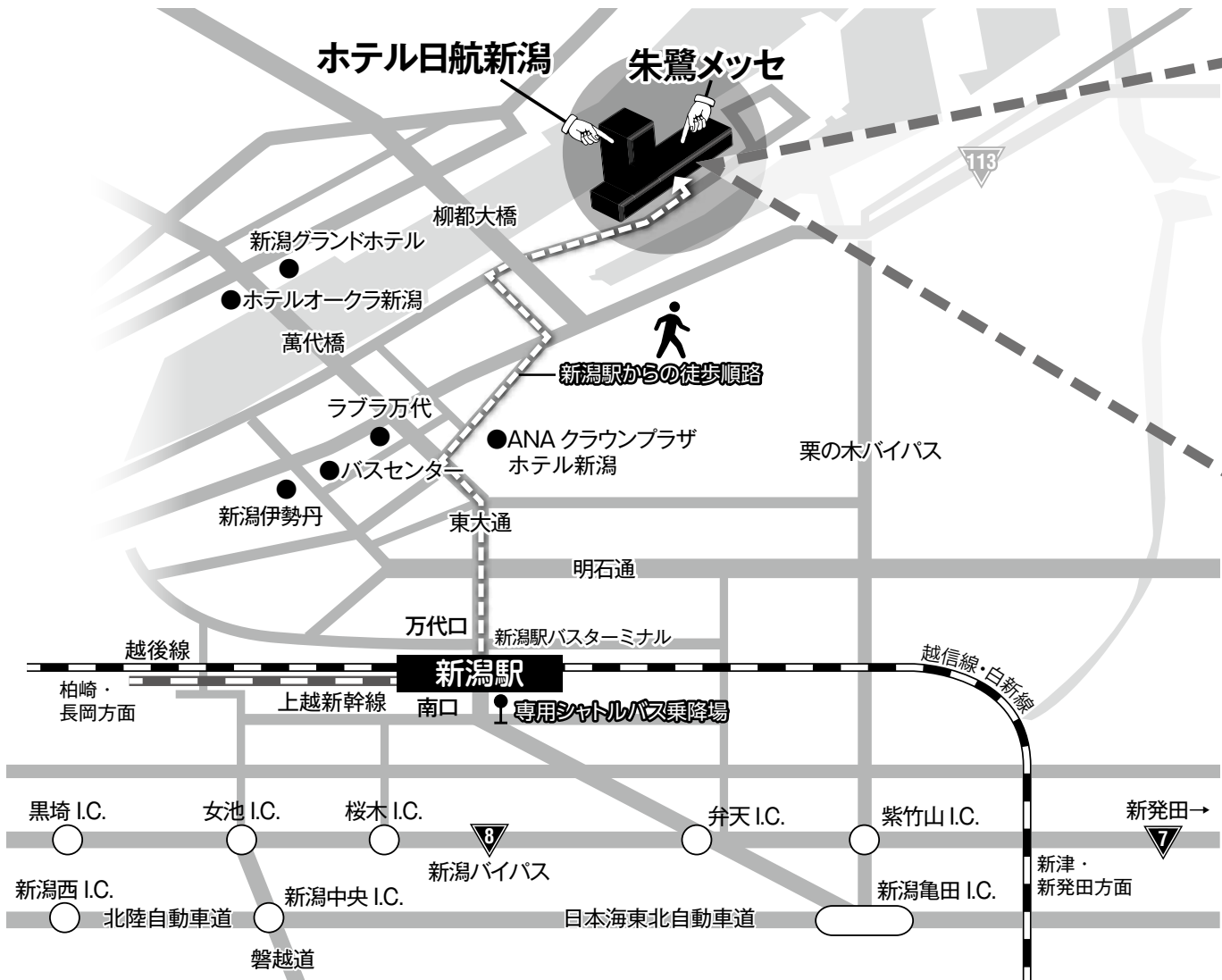
皆様へご紹介したい資料・リーフレット等を無料で配布するコーナーを会場内に設置します。ぜひ情報収集にお役立てください。

○ CPDS（継続学習制度）について

（一社）全国土木施工管理技士会連合会のCPDS（継続学習制度）のユニットが、本大会の専門部会（2日目）を聴講することにより、最大3ユニット取得できます。専門部会会場で「受講証明書」を配布いたします。ユニットの申請は、各自で（一社）全国土木施工管理技士会連合会へ申請してください。

（一社）全国土木施工管理技士会連合会ホームページ：<https://www.ejcm.or.jp>

会場のご案内



新潟空港、新潟駅を利用した場合のご案内

会場
朱鷺メッセ
 (新潟市中央区万代島6番1号)

ホテル日航新潟
 (新潟市中央区万代島5番1号)

新潟駅
 万代口
 南口

新潟空港

路線バス (佐渡汽船行 朱鷺メッセ下車)
 約15分

タクシー
 約5分

徒歩
 約20分

専用シャトルバス (朱鷺メッセ前)
 約15分

タクシー
 約20分

リムジンバス
 約25分

会場

朱鷺メッセ

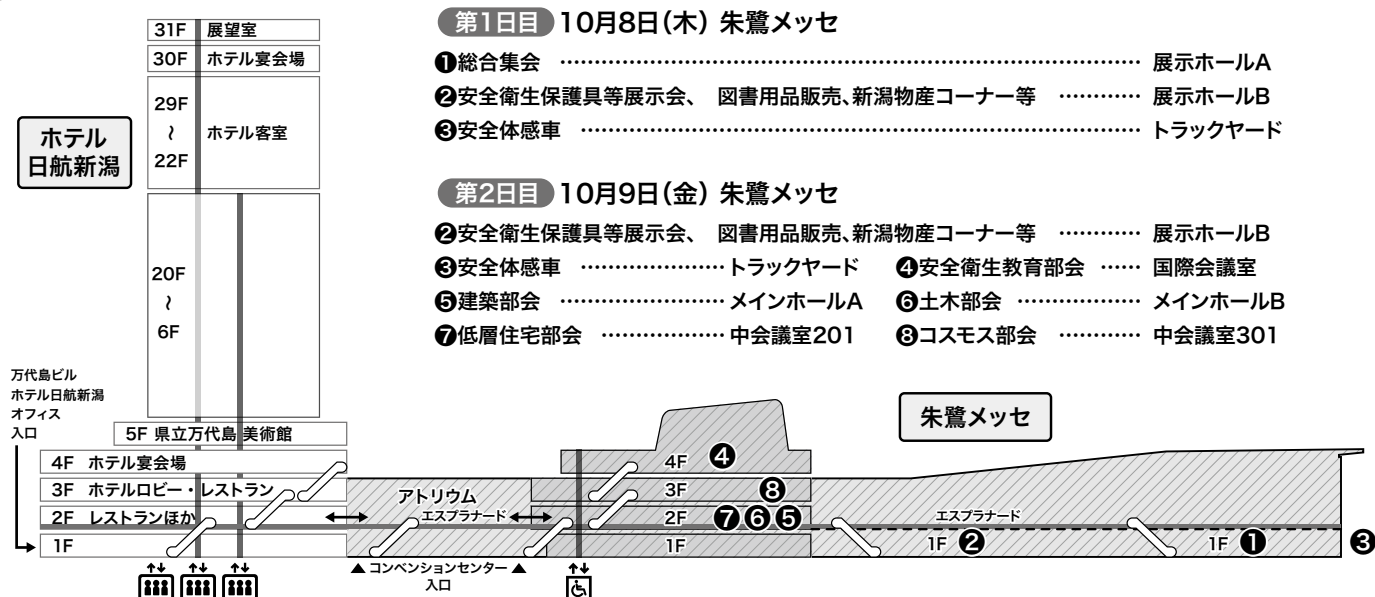
(新潟市中央区万代島6番1号)

ホテル日航新潟

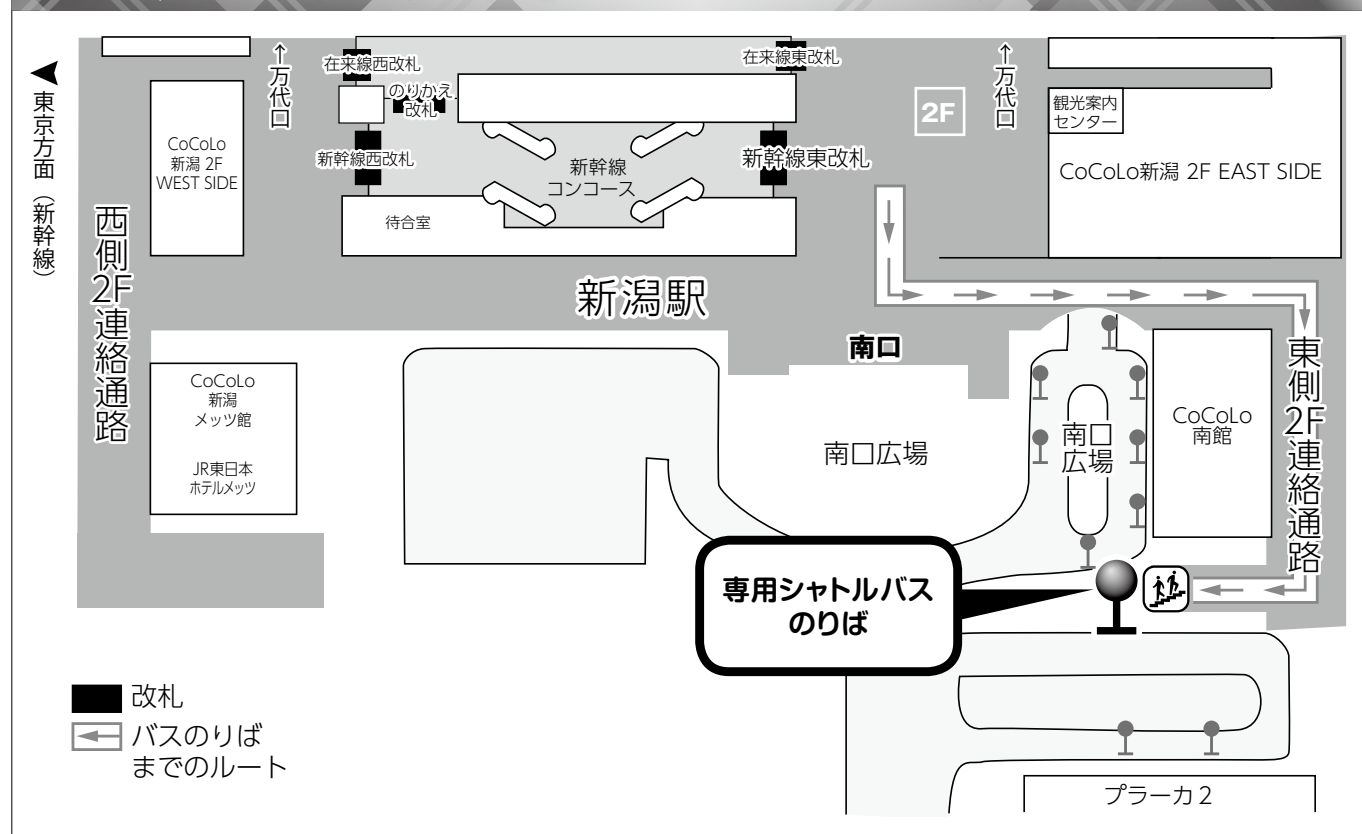
(新潟市中央区万代島5番1号)

※新潟駅万代口より路線バス⑦番乗り場(約15分／260円)も運行していますが、運行数に限りがありますので、南口からのシャトルバス(約15分／無料 ※19ページ参照)もご利用ください。

朱鷺メッセ館内図



新潟駅南口専用シャトルバス乗り場のご案内



専用シャトルバス運行予定時間

	新潟駅南口 ⇒ 会場(朱鷺メッセ前) ⇒ 新潟駅南口	
初 日 (10/8)	9:30	16:50 (朱鷺メッセ前16:50最終出発予定)
2 日 目 (10/9)	8:15	16:40 (朱鷺メッセ前16:40最終出発予定)

注) 初日の11時～13時は混雑が予想されます。

専用シャトルバスをご利用の方は、できるだけ早めの乗車をおすすめします。

※13:00～16:00の間は毎時00分・20分・40分にバスが発車します。

なお、混雑状況や交通事情により、発車時刻が前後する場合があります。その他の時間は満席になり次第、順次出発します。

初日・2日目アンケートのお願い

下記のQRコードより、アンケートのご協力をお願いいたします。

アンケートにお答えいただいた方は、部会の受付でスタッフに画面を提示ください。数量限定にて記念品を差し上げます。



アンケート
QRコード▶▶▶



ピタッ! と包める吸水マルチクロス

新潟物産コーナー

第63回全国大会の会期中、「新潟ふるさと村」と、「佐渡汽船」が協力し、県内各地の特産品を集めた物産販売コーナーを展開します。

新潟は、海・山・川の豊かな恵みに育まれ、多彩な食文化と伝統工芸が根付く地域です。会場では、人気の銘菓や海産物、米どころならではの加工品、職人の技が光る工芸品など、新潟の魅力を手軽に楽しめる商品を幅広く取り揃えています。

さらに、佐渡島の特産品もご紹介。島ならではの海産物や伝統文化にまつわる品々など、ここでしか出会えない佐渡の味をお届けします。



新潟ふるさと村



佐渡汽船

開催場所

朱鷺メッセ 展示ホールB

開催日時

令和8年10月8日(木) 10:30～17:00

令和8年10月9日(金) 9:00～15:30

オンデマンド配信

今までは見る事が出来なかった同じ時間帯の研究発表をいつでも何度でもご視聴いただけます。

配信内容:総合集会プログラム・専門部会プログラム

配信期間:10月13日(火)～11月9日(月)

- 1 オンデマンド配信を視聴するには、「ID」、「パスワード」が必要です。
- 2 「ID」、「パスワード」は、参加券、参加証(リストバンド)に記載しております。
- 3 総合集会は録画しました映像※、専門部会は事前に発表者等からご提出いただいた発表データとなります。
- 4 現地での専門部会に参加された方は、継続学習制度(CPDS)のユニットを取得できますが、オンデマンド配信参加ではCPDSのユニットは付与されません。

※一部映像を除く。

シゲマツ

創業1917年

化学物質のリスクアセスメント



化学物質の リスクアセスメント 専用お問い合わせ



化学物質ばく露防止のための
個人用保護具についてはこちらからお問い合わせください



株式会社 重松製作所
SHIGEMATSU WORKS CO., LTD.

www.sts-japan.com

本 社

〒114-0024 東京都北区西ケ原1-26-1

TEL 03(6903)7525(代表)

EASY Harness
CROSS

フルハーネス型
墜落制止用器具

2024年度
GOOD DESIGN賞 受賞製品

使いやすさと、
安全性能が
クロスする



CRH-10C 型

使用可能な質量
130kg 以下

Special site



数々の特長を
ご確認いただけます。

サンコー株式会社

<https://www.sanko-titan.co.jp>

本社・本社工場 〒532-0035 大阪府大阪市淀川区新高1丁目14番7号 TEL.06-6394-3541

ロック装置付き 巻取式 タイプ1 ランヤード

国内最軽量クラス

2022年度 GOOD DESIGN賞 受賞製品



SANKO INDUSTRIES CO. LTD.
TITAN

「墜落制止用器具の規格」適合

シングル
約700g



HL-HS-130 型

ダブル
約1,280g



HL-HW-130 型

フルハーネス型 / 胴ベルト型 兼用

使用可能な質量
130kg 以下

Special site



REELOCK mini

YK YAMAMOTO



120th
ANNIVERSARY
SINCE 1911

安全をつくる 快適でささえる

Comfortable safety

山本光学株式会社

セフティ＆レーザー・オプト事業部

本社 / 06-6783-1101 東京支店 / 03-3868-5503



NEW!

業界初! JIS 規格取得の BOA® PerformFit™ Wrap 構造安全靴



BOA®

DIALED IN
PRECISION FIT

短靴

PRM210BOA 静電 / 中編上靴

PRM220BOA 静電

面で足を包み込む最高のフィット感



ダイヤルを
回転させることで
好みのフィット感に
微調節が可能



面で足を包み込んで
フィットする革新的な
アッパー構成



ミドリ安全株式会社

本社 / 〒150-8455 東京都渋谷区広尾5-4-3 電話 / 03-3442-8293 (フットウエア営業部)

<https://midori-fw.jp>

粉じんにも花粉にも

カラーレンズ登場！



レンズ：イエロー



レンズ：スモーク

保護めがね
RC-170 シリーズ

曇りに



強い



レンズ：クリア

株式会社 理研オプテック TEL:03-3474-8601

<https://rikenoptech.com>



EX.
by Simon

EXCLUSIVE FIT &
EXCEPTIONAL
QUALITY

究極の履き心地を追求した
最高品質の安全靴



EX11 ブラック

エコマーク認定製品
認定番号 25 143 001



安全靴

JIS T 8101 CI/S/P1/F2/HI1/H合格

株式会社シモン

本社：〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-3-1
<https://www.simon.co.jp/>



【お問い合わせ先】

やっぱりこれだ

溶接で人気の
1005シリーズ

溶接作業に適した3つの特長

- 1 溶接面と好相性のデザイン
- 2 負担の少ない軽量設計
- 3 オゾン臭の除去にKBCフィルタ併用可能



指定防護係数10

溶接のベーシックモデル
防じんマスク

1005RR



指定防護係数14

溶接で多くの実績がある
電動ファン付き呼吸用保護具

BL-1005



指定防護係数33

溶接向け電動ファン付き
呼吸用保護具の上位モデル

BL-7005

クリーン、ヘルス、セーフティで社会に



興研株式会社

〒102-8459 東京都千代田区四番町7
TEL.03-5276-1911 (大代表)



「タフライト・フルハーネス」
最軽量モデル ST#522KA-N

軽すぎる

超高分子量ポリエチレン繊維「ダイニーマ®」採用
最軽量※1フルハーネス

強度そのまま
重さ約44%減※2!

550g

※1 タニザワ史上最軽量 (2023年11月現在)
※2 ST#572A-N (980g) との比較



詳しい製品情報は
当社 HP 特設サイトへ



株式会社 谷沢製作所

〒104-0041 東京都中央区新富 2-15-5 RBM 築地ビル

TEL : 03-3552-5581 FAX : 03-3552-5576 E-mail : eigyo@tanizawa.co.jp www.tanizawa.co.jp